

平成22年 2月松江市議会定例会予算特別委員会記録

- 1 日 時 平成22年 3月19日（金曜日）午前10時20分開議  
 2 場 所 本会議場

本日の会議に付した事件

- 議第122号 平成22年度松江市一般会計予算  
 議第123号 平成22年度松江市国民健康保険事業特別会計予算  
 議第124号 平成22年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算  
 議第125号 平成22年度松江市老人保健医療事業特別会計予算  
 議第126号 平成22年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算  
 議第127号 平成22年度松江市介護保険事業特別会計予算  
 議第128号 平成22年度松江市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算  
 議第129号 平成22年度松江市簡易水道事業特別会計予算  
 議第130号 平成22年度松江市公設浄化槽事業特別会計予算  
 議第131号 平成22年度松江市集落排水事業特別会計予算  
 議第132号 平成22年度松江市湖南誘致企業団地建設事業特別会計予算  
 議第133号 平成22年度松江市第二内陸工場団地建設事業特別会計予算  
 議第134号 平成22年度松江市第二卸商業団地建設事業特別会計予算  
 議第135号 平成22年度松江市八雲地域開発事業特別会計予算  
 議第136号 平成22年度松江市駐車場事業特別会計予算  
 議第137号 平成22年度松江市下水道事業特別会計予算  
 議第138号 平成22年度松江市公園墓地事業特別会計予算  
 議第139号 平成22年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算  
 議第140号 平成22年度松江市鹿島有線テレビジョン放送事業特別会計予算  
 議第141号 平成22年度松江市鹿島電気通信事業特別会計予算  
 議第142号 平成22年度松江市水道事業会計予算  
 議第143号 平成22年度松江市ガス事業会計予算  
 議第144号 平成22年度松江市自動車運送事業会計予算  
 議第145号 平成22年度松江市駐車場事業会計予算  
 議第146号 平成22年度松江市病院事業会計予算

出席委員（32名）

野 津 直 嗣  
 貴 谷 麻 以  
 野 津 照 雄  
 川 島 光 雅  
 石 倉 徳 章  
 田 中 明 子  
 畑 尾 幸 生  
 吉 金 隆  
 森 脇 幸 好  
 山 本 勝 太 郎  
 松 蔭 嘉 夫

南 波 巖  
 津 森 良 治  
 森 脇 勇 人  
 宅 野 賢 治  
 川 井 弘 光  
 桂 善 夫  
 斎 藤 菊 市  
 加 藤 富 章  
 篠 原 栄  
 加 本 市 郎  
 林 干 城  
 田 中 弘 光

片 寄 直 行  
 森 脇 敏 信  
 三 島 良 信  
 石 倉 茂 美  
 飯 塚 悌 子  
 田 中 豊 昭  
 立 脇 通 也  
 比 良 幸 男  
 出 川 修 治

教 育 長 福 島 律 子  
 理 事 友 森 一 夫  
 副 教 育 長 瀧 野 一 憲  
 水 道 局 長 原 俊 彦  
 水 道 局 長 松 浦 俊 彦  
 水 道 局 長 内 田 貞 文  
 工 務 部 長 松 本 修 司  
 水 道 局 長 清 水 伸 夫  
 交 通 局 長 錦 織 優  
 市 立 病 院 長 星 野 芳 伸  
 市 立 病 院 長 星 野 芳 伸  
 事 務 局 長 星 野 芳 伸

欠 席 委 員 ( 1 名 )

板 垣 亨

事務局職員出席者

事 務 局 長 落 部 厚 志  
 次 長 久 保 田 賢 司  
 議 事 調 査 長 桔 梗 和 夫  
 課 長 記 高 門 橋 浩 三  
 書 記 長 記 門 脇 保 郎  
 書 記 長 記 大 野 一 俊  
 書 記 長 記 永 見 玲 子  
 書 記 長 記 古 川 進

説明のため出席した者

市 長 松 浦 正 敬  
 副 市 長 小 川 正 幸  
 副 市 長 中 村 光 男  
 政 策 部 長 川 原 良 一  
 総 務 部 長 野 津 精 一  
 総 務 部 次 長 意 東 喜  
 財 政 部 長 原 厚  
 財 政 部 次 長 上 村 敏 博  
 産 業 経 済 部 長 能 海 広 明  
 観 光 振 興 部 長 森 秀 雄  
 市 民 部 長 渡 部 厚 志  
 健 康 福 祉 部 長 柳 原 知 朗  
 環 境 保 全 部 長 青 木 保 文  
 都 市 計 画 部 長 安 井 春 海  
 建 設 部 長 中 島 広  
 会 計 管 理 者 荒 川 具 典  
 消 防 長 宅 和 勝 美

〔午前10時20分開議〕

南波委員長 これより予算特別委員会を開会いたします。

分科会長報告

南波委員長 去る3月4日の予算特別委員会におきまして、各分科会に審査を委託しておりました議第122号「平成22年度松江市一般会計予算」から議第146号「平成22年度松江市病院事業会計予算」まで議案25件を一括して議題とし、各分科会における審査の経過並びに結果についてそれぞれ分科会長の報告を求めます。

森脇幸好総務分科会長。

〔森脇幸好委員登壇〕

森脇（幸）総務分科会長 予算特別委員会から総務分科会に委託されました議案9件について、3月5日、8日に分科会を開催し、審査を行いましたので、その経過と結果について御報告申し上げます。

初めに、議第122号「平成22年度松江市一般会計予算」中は、執行部より総括的に説明があった後、質疑に対して執行部より、同和対策の法律は平成14年に失効しているが、人権施策を推進していく上では、今まで取り組んできた同和対策、同和教育の成果を引き続き人権問題の柱としていくことが基本的な考え方であり、その視点で今後取り組んでいく。

夢未来協働プロジェクト推進事業の総合計画への反映について、平成22年度商工会議所が提案事業の検証を行われることから、その状況を踏まえ、今後取り扱いについて検討する。

新年度予算のLED照明普及推進事業は、玉造温

泉、松江温泉などそれぞれ10%前後宿泊客が減少していることを踏まえ、ホテル、旅館という電気消費量の大きい施設を対象に、初期費用の一部を補助するものであり、自治会の防犯灯をLED照明とすることは想定していない。今後、ニーズを踏まえ検討していく。

電子自治体を推進していく上での松江市における課題については、現在窓口の充実に向けたコンピューターシステムの開発を行っているが、行政手続の完全オンライン化の実施、国、県、市町村をつなげる問題や官民の連携のワンストップ行政サービスの実現などが問題と思う。また、新行政情報システムは、平成22年、23年の2年間のうち1年半をかけて開発を行い、残りの半分はテスト期間として計画している。

選挙管理システムの有権者データの入力方法は、住民基本台帳システムから有権者要件に合致したデータを自動的に取得できるシステムである。

松江市立病院医師の中国銀川市への派遣事業の内容は、昨年友好都市提携5周年の際に現地の病院側から提案を受け、研修講師として医師1名を1週間派遣する内容で計画している。

松江市総合計画に掲げた目標人口と現状の推移について、目標としている20万人の人口は減少傾向にあるが、引き続き定住対策等を重ねながら、この傾向を食い止めていく。計画策定時に定めた目標人口は、事業を行う上で最も基本的な部分であり、まちづくりをしていく上で大切な目標値である。計画の途中段階では見直しを行わず、次の総合計画策定時に検討することになる。

隠岐航路運営支援事業については、平成18年度から22年度までの補助は、隠岐汽船株式会社が定めた再生計画に基づき、島根県、周辺市町村とともに支援を行う事業である。経営は順調に推移しており、平成22年度中には累積赤字が解消される見込みであり、航路の維持、観光振興を図るための補助の目的を達していると思う。平成22年度中に5年間の補助、支援を検証した上で、平成23年以降の支援について検討することになる。

一畑電車利用促進事業補助については、平成17年度までは一畑電車の運行に対する欠損を翌年度に補助してきたが、平成18年度以降は上下分離方式として、線路、電路、車両の維持修繕更新分を翌年度に松江市、出雲市、島根県が支援している。

国勢調査については、個人情報、プライバシー意識の高まりや昼間の不在がふえるとともに、近所とのつき合いが薄れ情報が得にくいことから、調査が厳しい状況である。

消防署所の再編計画の状況については、計画の見直しを平成18年に行い、東分署、北分署、南出張所の順で整備をする計画であったが、全体として若干おこなわれている。東分署は八束町、美保関町、島根町の各出張所を対象に整備する分署であるが、島根町の道路事業などの問題もあることから、再度分署のあり方、出張所のあり方について検討を行っている。

電源立地地域対策交付金の今後の推移については、前年73億円が今年度は39億円程度になった。平成23年度以降は約27億円で平準化すると思われるなどの答弁がありました。

討論に入り、一委員から、電源立地地域対策交付金の使途問題で、一定地域への電気料金の還元、経常経費に多く充てられている問題があり、原発交付金依存体質からの脱却を図るべきである。同和対策の法律が終了したにもかかわらず、同和問題を強調し、継続するのは解決方向に逆行する。国保特別会計財政赤字補てんを貸し付けで対処しているが、国の責任を明確にしながら一般会計からの繰り出して対応すべきであり反対する。

賛成する意見では、一委員から、平成22年度予算は子ども手当の新事業が予算化されている。この事業は選挙目当てととれるばらまき予算の最たるものと感じており、地方自治体にも負担を求めていることから疑問を持ち、新年度予算に全面的に賛成しがたい面もある。しかし、地域防災無線整備、市民綱引き大会、大橋川改修事業、内水排除対策の促進など新しい事業も織り込まれていることから賛成する。

一委員からは、事業の評価、成果をきちんととらえるとともに、新年度は統計データ等を有効に活用する方向性であるが、数値の根拠だけでなく、中長期的な政策の展望を持ち、限られた貴重な財源を効率的に投資効果を図っていただきたいということをお願いし、賛成する。

一委員からも、市民の安全・安心の観点から防災無線、情報告知システムなどの事業が本格的に行われ、一段と拡充された予算であることから賛成するとの意見があり、採決の結果、議第122号中は賛成

多数により原案可決すべきものと決しました。

次に、議第123号「平成22年度松江市国民健康保険事業特別会計予算」は、質疑に対して執行部より、国民健康保険は社会保障制度であり、また相互扶助による社会保険であることも確かである。国民健康保険は半分公費負担、残りを保険料で賄うことになっている。社会保障制度であることから、一般会計から保険基盤安定繰入金や財政安定化支援事業としての繰り入れ、事務費も一般会計で負担するなど制度を維持するための財政支援を行い、国保財政の安定運営に努めてきたし、今後も努力する。

後期高齢者医療制度が導入され、どれだけの影響があったかは明確でないが、今までの歳入歳出と後期高齢者医療制度導入後の歳入歳出総額で見ると、歳入歳出総額で差し引き約2億円の差があると考えられる。このことは国保運営協議会の資料に記載し、報告している。後期高齢者医療制度の導入が国保財政の悪化の原因ではなく、それ以上に医療の高度化と高齢化による医療費の増大が影響していると判断している。平成20年度決算の実質赤字が約6億1,000万円であり、そのうちの4億円程度が医療費高騰分であるなどの答弁の後、意見では、一委員から、保険料の10%引き上げは耐えがたい負担で、今でも払えないために保険証が取り上げられる世帯が600件を超えている。保険料引き上げで対応するのではなく、国の責任を要求しながら、当面一般会計からの繰り入れ補てんをすべきであるので反対。

賛成する意見では、一委員から、本来は約20%程度の保険料改定という計算となるが、それをあえて平成22年度は10%に抑えている。本制度は、保険加入者が相互扶助で運営するのが原則で、安いことにこしたことはないが、運営が破綻する状況は避けなければならない。やむを得ないので賛成する。

一委員から、10年間保険料を据え置いてきた中で、今回運営を維持できないということで、やむを得ないが保険料アップは必要である。今後、国に対して要望しながら、市としては医療費の増大を抑制し、保険者負担を最小限に食いとめることをお願いし賛成する。

また、一委員からも、10年間基金による対応で保険料を上げずに運営されたことを評価する。今後、健康づくりやジェネリック薬品の使用等を積極的に展開することを期待し賛成するとの意見があり、採決の結果、議第123号は賛成多数により原案可決す

べきものと決しました。

議第128号「平成22年度松江市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」は、質疑に対して執行部より、滞納状況等については、昭和47年から平成8年までの25年間貸し付けを行い、貸付人数は279名、貸付総額は約12億円であり、平成20年度決算の滞納額は約3億1,000万円。現在88名の債務者のうち、滞納者が87名となっている。

債務者の状況は、生活保護の受給者、高齢により収入が不安定な方がいる。基本的には分納ということで粘り強く行っていくが、生活保護についても移行ができる方については生活相談等を行いながら対応しているなどの答弁の後、意見はなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第139号「平成22年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算」は、質疑に対して執行部より、財産区制度は明治時代の合併の推進に当たって、市町村の財産が合併交渉を妨げたことから、地方自治法において、旧地域で共同利用管理を行う組織に、特別地方公共団体としての法人格を持たせ、当該財産の所有を認めた制度である。全国で解散した例は、基金が減少し、財産を自治体に帰属させた例がほとんどである。本会計は基金が十分であることから、この状況で解散する場合は、財産の帰属先について、地元財産管理会の十分な理解と同意を得る必要があり、また財産区は島根県に監督権限があることから、県とも十分な協議が必要であるとの答弁がありました。

意見はなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

次に、議第124号「平成22年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算」、議第125号「平成22年度松江市老人保健医療事業特別会計予算」、議第126号「平成22年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」、議第140号「平成22年度松江市鹿島有線テレビジョン放送事業特別会計予算」及び議第141号「平成22年度松江市鹿島電気通信事業特別会計予算」については、意見はなく、それぞれ全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

以上で総務分科会の報告を終わります。

南波委員長 総務分科会長の報告に対する質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

南波委員長 これをもって総務分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

吉金隆教育民生分科会長。

〔吉金隆委員登壇〕

吉金教育民生分科会長 予算特別委員会において教育民生分科会に委託されました議案3件について、去る3月9日、10日に分科会を開催し、審査をいたしましたので、その経過と結果について御報告申し上げます。

議第122号「平成22年度松江市一般会計予算」中では、初めに健康福祉部、教育委員会より総括説明があり、健康福祉部に関しての質疑に対し、執行部より、自助、共助で老後を送っておられる方に対する支援は非常に重要であるので、新年度には新高齢者施策支援事業として、例えば忌部地区で行われている買い物支援や病院への搬送支援、ちょっとした家のことに対する支援で高齢者を支える仕組みを、全市的に広める提案をしていきたいと思っている。当然、地域の独自性、積極性が必要となるので、各地区の社協とも協議しながら、モデル的に動き始めたいと考えている。

超高齢化社会へ向けての取り組みについては、道路、交通も含めて町のあり方自体を根本的にどうしていくかということにつながるので、福祉の部分からだけでなく、松江市全体として考えていく必要がある。

乳幼児医療費の無料化の拡充が段階的となっている理由については、これまでは社会保険の子供の自己負担が3割から2割になったとき、今回は県制度の改正というタイミングの中で、市に生じた助成額の余裕をいかに子育て支援に使うかという議論の中で実施してきたものである。一般財源を使う中で行政改革、税の収納率アップなどを図りながら、内部管理費を捻出して実施し、段階的に充実してきた。

保育所の待機児童解消の問題では、ことし4月から定員弾力化の上限が撤廃されることについての影響に関して、発表されたのがつい最近であったため、当初予算には反映していない。実際に、保育所が最低基準を守った上で入所者をふやすことになれば、それに見合った運営費をそれぞれの保育所にお支払いすることになると思っている。ただし、定員の弾力化の上限が撤廃されたといっても、平均入所率が2年連続で120%を超えた場合、定員の見直し

をしなければならないことになるし、保育所の経営者の方々におかれては、現状の施設の中でゆとりある保育をしたいというお考えの方も多いようであるので、定員そのものの見直しとなるほど定員弾力化はなされないのではないかと予測している。

がん検診の受診率向上に向けては、地域の保健福祉祭での検診実施、巡回の検診車の確保をする日を今年度以上に多くする。大型のショッピングセンターなどに複数の検診車をそろえて、一度にいろいろな検診を受けていただく機会を設けるなどの努力をしていきたいなどの答弁がありました。

また、教育委員会に関しては、質疑に対し執行部より、小中一貫教育の中で、地域で特色のある教育を実施することについては、先進地では特区申請をし、特別な教育課程を組んでいるところもあるが、松江市の場合、15の中学校区で、地域性や広さも異なるので、特区申請等は行わず、学習指導要領の範囲内で進めたい。これまでもふるさと教育や英語教育などを各校区で独自に進めてきているので、今後も指導要領の範囲内で十分推進が可能であると考えている。また、小中一貫教育に関しては、学校と地域の横のつながりだけでなく、教員が小中の9年間を一体のものにとらえ、その中で共同指導体制を構築するという縦のつながりが非常に重要となるため、教職員の研修の機会の確保に努めたい。小中一貫教育実施による教職員の負担については、確かにある程度増加することは避けられないが、それが過多とならないよう、校長、教育委員会がきちんとサポートしていきたいと考えている。

学校の耐震化工事については、平成25年度末に100%完了となるよう計画している。国の補助制度の優遇措置が平成22年度で打ち切られるが、その延長についても全国市長会を通じ、引き続き要望していきたい。

総合体育館の建てかえの場所については、交通問題、既存施設利用のあり方などさまざまな検討を重ねた結果、今の場所が最適だろうということになった。駐車場問題等については、引き続き検討していかなければならないと考えている。

校庭芝生化については、今年度3校行い、新年度は7校を予定している。地元の皆さんの御理解と御協力を得ながら、また御理解をいただくための研修も企画しながら進めていきたいと考えている。

興雲閣の利用について、これまで文化財は見るだ

けという認識がなされてきたが、現在は活用してこそ価値があるという認識に変わってきているので、興雲閣も建造物としての展示だけではなく、建造物を生かした活用をしていきたい。ただし、どのように利用するかについては、若い方のアイデアも生かしながら、これから検討していきたいなどの答弁がありました。

討論では、子ども手当など問題を含んではいるが、学校の改修、耐震化工事、待機児童対策としての保育所の増、幼保一元化の推進、健康づくり、がん検診事業の拡大、障がい者への対策拡大、乳幼児医療費の増など、さまざまな面に気を配りながら組んである予算だと思うので賛成する。この予算の多くは人が相手の施策であり、給付と同時に人の気持ちをどうしんしゃくするかが問われるので、市民との信頼関係を大事にしながら執行していただきたい。ただし、この予算は市債の発行が再び増に転じたという問題もあるので、節約するところは節約しながら、適正に執行していただくことをあわせてお願いする。

また、賛成である。民生費、教育費に関する部署は、ほとんどが直接市民の方のさまざまな要望や不満などを聞くところである。そういう意味で、この予算はそれぞれのところで要望や思いが酌まれ、かつ財源の問題もあるので、苦労してつくられたものだと思っている。ぜひ、そういう意味では、市民の方に喜んでいただけるような形で執行していただきたい。

賛成である。この委員会の所管でも特に目立つが、小中一貫教育や学校校庭の芝生化、がん検診等、市民の方に一定程度、主体的に出かけていただかないと進まない事業がたくさんあるので、住民との協働を進める場合には職員の意識改革、できるだけ地域に飛び込んでいくという意識を持っていただき、予算執行していただくことをお願いする。

子供の医療費の無料化の拡大など、政策に多少の前進のあることは評価するが、市民の切実な暮らしの実態などから見れば、まだ大変おくられているので反対する。理由としては、1つは、国民健康保険の貸し付け、これは一般会計からの繰り出しにすべきであるという点。2つ目は、保育所の待機児童解消の問題でもいろいろと努力はされているが、松江市の保育行政の大半を受け持つ、私立保育園の支援に対してなかなか前進がない点。そして、繰り返し本

会議でも言っているが、法が失効しているにもかかわらず、学力促進事業を実施する点があるなどの意見に分かれ、採決の結果、挙手多数により原案可決すべきものと決しました。

議第127号「平成22年度松江市介護保険事業特別会計予算」では、質疑に対し執行部より、平成20年度の収納率は、特別徴収100%、普通徴収85.21%、合わせて98.59%、過年度分については16.09%であった。

特定高齢者の把握については、今年度まで特定健診等に来られた方にチェックリストを記入していただくという方法を行っていたが、どうしても把握数が少ないため、新年度からは65歳以上の高齢者で、要支援、要介護認定を受けておられない方に生活機能チェックを郵送し、それを返送していただき、必要であると判定された方に、生活機能検査を受けていただくという方法をとりたい。新しい取り組みとなるので、十分にPRしていきたいと思っている。

また、介護予防サービスの利用については、大変低い数字となっているが、介護予防は医療、介護の両面で大変重要だと思っているので、引き続き取り組んでいきたいと考えている。

そして、地域包括支援センターの職員の人数については、平成22年度は4名増員し、21名体制とする。当面はこの体制で行おうと思っているが、将来的に高齢者が増加すれば、さらなる増員も検討しなければならないと思っているなどの答弁がありました。

意見はなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第146号「平成22年度松江市病院事業会計予算」では、総括説明の後、質疑に対し執行部より、平成22年度は企業債償還のピークとなる。これは医療機器についての償還に加え、建物の元利償還が始まるためである。なお、償還方法は元利均等方式であるため、徐々に減っていくことになる。

また、新年度の医療機械の更新については、CTなどを予定している。市立病院の資産で医療機械は約50億円分あるが、そのうち約20億円分は旧病院から移設したもので、時代が進むにつれ老朽化するものが多くなっている。したがって、今後それを計画的に更新する必要があるが出てくるが、一方では多額の借金を抱えているので、企業債に頼るばかりでなく、単年度収支を改善し、内部留保資金を少しずつため

ながら自前で購入していこうと、今後の3カ年の計画では考えているところである。

また、病床稼働率の問題については、新病院が建った時点で90%以上を見込んでいたが、その後国の社会保障費、医療費減が想像以上に進み、平均在院日数が短縮したことから、病床稼働率は下がっている。これは全国的な傾向でもある。さらに拍車をかけているのがDPC、包括診療という制度で、これを選択すると平均在院日数をコントロールしていくことが求められてくる。そうした現状を踏まえると、当面は85%という率を目標としていきたいと考えている。

また、DPCとこれまでの方式の効果の比較については、まだ導入したばかりで調査研究している段階である。

第2次中期経営計画で、平成24年度に黒字転換を目指すためのポイントとしては病診連携、つまり1次、2次、3次の医療機関がそれぞれの役割分担をきちんとする。また、開業医の先生方との連携を強めるということが上げられるのではないかと考えている。

時間外選定療養費3,150円の徴収は、4月1日から実施したいと考えている。予算の中では、外来収益の中に織り込み済みである。ただし、今までの時間外診療の加算料金の平均数値は1人当たり約2,550円であるので、経営にとって増収になるという見方はしていない。

また、滞納整理の必要な未収金は、平成19年度には4,400万円あったが、専門の集金員を雇用して取り組んだ結果、4,100万円まで減少した。この取り組みを引き続き行うとともに、職員による夜間徴収なども行い、さらに減額していきたいなどの答弁がありました。

討論では、診療報酬の見返りがあるということで、入院期間短縮によりベッド回転率を上げることが進められているが、実際にはそれが病院経営を赤字に追い込んでいる。また、赤字については、平成21年度単年度収支で10億円を越す見込みで、累積欠損も92億円を越える。平成22年度についても第2次中期経営計画どおりに行けばよいが、下手をすれば100億円を越す累積欠損となるおそれがあること。そして、時間外選定療養費の導入はさらに受診を抑制することになるだけでなく、病診連携や病病連携を困難にさせる懸念があることから反対する。

そして、経営は国の動向に大変左右される問題であるが、その中で一生懸命努力されている。機器の整備についても状況を見ながら進めておられるので賛成はする。ただし、大きな赤字を抱えているわけだから、病院の跡地利用についても松江市任せにせず、きちんと病院としての意見も言っていただくこと。できるだけ頑張っ平成24年度に黒字にさせていただくよう、可能な限り経営健全化に努力していただきたい。

また、賛成する意見として、自治体病院はどこも同じような状況である。ある意味、構造的な問題もある。ただ、そうはいつても、当然ながらその中にいろいろな部分の問題はあると思うので、経営改革をきちんとさせていただくとともに、最先端の職員の声も聞きながら、市民が行きたくなくなるような病院をつくり上げていただきたいことをあわせて要望する。

同じく、中期計画をつぶさに見て、途中で意見を申し上げることはあるかもしれないが、経営努力を大変しておられるので賛成するなどの意見に分かれ、採決の結果、挙手多数により原案可決すべきものと決しました。

以上で教育民生分科会の報告を終わります。

南波委員長 教育民生分科会長の報告に対する質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

南波委員長 これをもって、教育民生分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

松蔭嘉夫経済分科会長。

〔松蔭嘉夫委員登壇〕

松蔭経済分科会長 予算特別委員会において経済分科会に委託されました議案7件につきまして、去る3月11日、12日に分科会を開催し、審査をいたしましたので、その経過と結果について御報告いたします。

議第122号「平成22年度松江市一般会計予算」中は、質疑に対し執行部より、大綱引き大会については、松江大橋もしくはその周辺での開催を計画しており、松江大橋での案では橋の南北で分けて、たくさんの市民参加による新たなにぎわいをつくっていく予定である。

松江開府400年祭に関し、来年度のシンボルイベントであるおでんサミットについては、大綱引き大会や水辺の芸術祭等と同時開催することを予定して

おり、全国各地の特徴あるおでんを松江の人に味わっていただくと同時に、これを機会におでん屋と協議会のようなものをつくり、新しいメニューや普及につなげていきたいと考えている。

また、400年祭最終年に当たる来年に開催する博覧会については、観光プロモーションがおくれているが、事務局の人員増による体制強化をした上で、5月から内容が固まるたびに、段階的に全国展開を行っていく。博覧会の開催期間は、松江歴史館のオープニングに合わせ、来年3月末ごろから神在月を意識して11月ごろまでの長期間を検討しており、予算規模は他都市の博覧会やホーランエンヤの経費等を考慮して、1億5,000万円ぐらいは投入していきたい。400年祭が終わった後の観光戦略としては、今まで施設を中心とする観光戦略であったものを、まち歩き観光に切りかえようということで、博覧会の中で将来の松江観光の実証実験をやりたいと考えている。博覧会は、大きく言うと過去4年間に行った事業、イベントの集大成という意味合いと、今後の松江の観光戦略としてのまち歩き観光の実証実験という2つの要素を考えながら行う構想である。

アワビの種苗生産計画については、他都市の水産試験場で効果が出ている紫外線殺菌装置を導入するとともに、養殖施設内の温度や水質が安定的に保たれるよう施設管理を徹底することで、生産目標の40万個が達成できるように、関係機関と一丸となって取り組んでいく。

森林病虫害等防除事業については、薬剤の空中散布が一番安価で一番よい処理方法であると思うが、人体に影響があるということが報告されているので、安全が確保できない限り、なかなか再開できないと考えている。防除方法としては、薬剤の樹幹注入、伐倒薫蒸処理だけでなく、市産材の活用を促したり、森林再生事業に地域を挙げて取り組んでもらうことで、松枯れに対応していきたい。

ポタンの台湾現地生産とは、大根島で生産し、開花調整の処理まで行った苗を、松江の気候と同じような台湾中部の2,000メートル級の山の上に運び、そこで鉢に移して50日間調整することであり、生産というよりは育成に近い。特許流出のおそれもあるので、あくまでもなお苗生産は大根島で行うということである。

NEW松江菓子の事業状況については、ことしも

含め6年間、買いたくなるような味やパッケージの開発改良、輸出の問題解決、プロモーションを行ってきた結果、昨年度常設店を1店舗開設した。今後4店舗ふやす計画もあり、最終的な局面に入っている。また、もう一方で、新年度には向こうに在住されている日本人の方等のパーティーにNEW松江菓子を提供したり、国際会議で配付したり等しながら、ニューヨークでのブランド化戦略を進め、そうすることで日本でのブーメラン効果もねらっていきたい。

市内のホテル、旅館等でお客様に他都市の菓子をお茶と一緒に出すところがふえているという指摘については、原価的な問題もあるが、再度、市内の和菓子を提供していただくよう協力方をお願いしていきたい。

松江城の国宝化推進状況については、行政側としては城の耐震調査をする中で、国宝化に向けた新知見を見出す手法を検討しており、文化庁の外郭団体の方に信頼の置ける専門の先生の人選方をお願いしているところである。また、宣伝効果を上げるために、松江城に来られたときにお渡しするパンフレットの中に国宝化を目指していると印刷することで、全国的にも広げていきたいと考え、準備を進めている。市民運動としては、この調子でいけば署名活動の目標10万人に比較的近い状況にまでいけるのではないかと見込んでいる。さらに、市民団体の方で、近隣の市町村や堀尾家ゆかりの大口町で署名運動をする等計画をされている。

Ruby City MATSUEプロジェクト事業については、企業立地と雇用の場の創出を最終的な目標として取り組んでいるが、平成18年度以降の企業誘致数22社のうち12社がソフト産業、IT関連企業であり、着実に効果を上げている。

ホーランエンヤ記念館の整備については、5大地の皆様、学識経験者等で組織した検討委員会で、今年度中に基本構想を策定する予定である。その中で、12年に1度とふだん見ることも触れる機会も少ないホーランエンヤについて、市民の皆様がいつでも気軽に勉強できる施設であったり、5大地の皆様の伝承に当たったの後継者育成問題等を市民を挙げて解決に向けて取り組んでいくための啓発をしながら、観光客にも親しまれる施設として整備を考えているとの答弁がありました。

討論に入り、一委員より、政治的、経済的に大変



厳しい時代にあって、一生懸命執行に頑張っていた  
たくことを条件に賛成。

また、一委員より観光等もいろいろな新しいアイ  
デアを出しながら、新しい顧客獲得に向けて頑張っ  
ていただくこと。企業誘致等も精いっぱいやってい  
ただくことを意見として賛成。

また、一委員より、松江市を活性化していく上で  
は、何といても雇用の問題が、今市民が一番注目  
しているところであり、中小企業の支援も含め、頑  
張っていただきたいということで賛成との意見があ  
り、採決の結果、議第122号中は全員異議なく原案  
可決すべきものと決しました。

議第132号「平成22年度松江市湖南誘致企業団地  
建設事業特別会計予算」については、質疑、意見と  
もなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべ  
きものと決しました。

議第133号「平成22年度松江市第二内陸工場団地  
建設事業特別会計予算」については、質疑、意見と  
もなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべ  
きものと決しました。

議第134号「平成22年度松江市第二卸商業団地建  
設事業特別会計予算」については、質疑に対し執行  
部より、未分譲の団地については、現在の経済状況  
下では売れる見込みは厳しいが、景気が回復し、企  
業の設備投資意欲が高まってきた際に立地につな  
がるようPR活動を継続し、努力していきたいとの答  
弁があり、討論では意見なく、採決の結果、全員異  
議なく原案可決すべきものと決しました。

次に、議第143号「平成22年度松江市ガス事業会  
計予算」は、質疑に対し執行部より、都市ガスの供  
給エリアは市内中心部に集約されているので、市長  
部局の施策等の情報収集やまちなか居住、環境対策  
といった施策との連携をとりながら、都市ガスの普  
及に努めていきたい。民営化の考え方の質問に対し  
ては、平成18年にあった答申のとおり、方向性とし  
ては間違いなく民営化であるが、黒字経営を続けな  
がら起債残高を減らしていかなければ現実的ではな  
いと考えているとの答弁があり、討論では、一委員  
より、経営陣の努力目標とか一生懸命努力している  
姿を尊重し賛成との意見があり、採決の結果、議第  
143号は全員異議なく原案可決すべきものと決しま  
した。

議第144号「平成22年度松江市自動車運送事業会  
計予算」は、質疑に対し執行部より、深夜便につい

ては、平成19年のダイヤ改正、一昨年の社会実験で  
22時台便を走らせており利用者の要望があること、  
またレインバスについては、通学で一番多く利用さ  
れる朝の便で、天候が悪い日には生徒の積み残しが  
起こり、生徒さんが遅刻をされるという状況もある  
ので、試行的に利用者の利便性を考慮して、いづれ  
も実施することにした。

市立病院行きのバスの運行状況については、橋南  
の医療の拠点として市民の利便性を高めるため、最  
大限努力して便数をふやしている。いろいろな系統  
が走っていて、どれが病院に向かうのかわかりにく  
い部分もあるかもしれないが、循環線、一般の路線  
バスを含めると100便以上投入し、便数に限っては  
他都市と比べても遜色がないのが現状である。

経営改善計画との比較については、計画では平成  
22年度の収支が210万円余りの黒字に対し、予算段  
階では49万5,000円の黒字を見込むということで、  
ほぼ計画に近いもので推移しており、さらなる経営  
努力により達成可能であると考えているとの答弁が  
あり、討論では、一委員より、職員一丸となった努  
力により黒字予算が6年ぶりに提出されており、よ  
り一層の収益を上げられるよう努力をお願いして賛  
成。また、一委員より、チャレンジする姿勢をとて  
も評価し賛成との意見があり、採決の結果、議第  
144号は全員異議なく原案可決すべきものと決しま  
した。

議第145号「平成22年度松江市駐車場事業会計予  
算」は、質疑の後、討論では意見なく、採決の結果、  
全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

以上で経済分科会の報告を終わります。

南波委員長 経済分科会長報告に対する質疑はあ  
りませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

南波委員長 質疑なしと認めます。

これをもって経済分科会長の報告に対する質疑を  
終結いたします。

森脇勇人建設環境分科会長。

〔森脇勇人委員登壇〕

森脇(勇)建設環境分科会長 予算特別委員会に  
おいて建設環境分科会に委託されました議案9件に  
つきまして、去る3月15日、16日に分科会を開催  
し、審査をいたしましたので、その経過と結果につ  
いて御報告申し上げます。

議第122号「平成22年度松江市一般会計予算」中では、国費公共事業は減ってきたという感覚はあるが、平成21年度は補正予算が2回もあり、逆に多いようにも感じている。建設部所管事業の今後、一、二年をどう見ているのか。

歴史文化を活かしたまちづくりの推進について、関連の文化財課などと調整はどのあたりまでしているのか。

新交通システム導入について、先般の議会報告会の中でも市民の皆様より意見をいただいているが、今本当にこのことが必要かどうかなど、我々が意見を言う議会の場はいつ、どこなのか。最終的に予算の部分で判断してよいのか。今の時点で導入について判断はできないが、高齢化や地球温暖化などから松江でLRT導入とはなかなか結びついていかない。ほかのものではいけないのか。そういうことを含めて今後研究されるのか。

新ごみ処理施設稼働に伴う分別方法の説明会を市内90カ所で行うようだが、説明の方法はどのようにするのか。具体的に分別は今後どうなるのか。

空き家対策ということで、人が住んでいない一戸建てが松江市内に4,700戸あるということであるが、今後所有者に管理責任を持たす条例の制定の考えはあるか。

現在のごみ処理施設の北工場と南工場は今後閉鎖するようだが、最終的に解体し平地に戻すのか、事業計画を伺いたいなどの質疑があり、執行部より、平成21年度予算は緊急経済対策などで非常に膨れ上がってはいるが、原発交付金、街路事業が終わり、平成22年度予算は減っている。今後は一括交付金はどうなるかを見定めないと見えてこない。

歴史、文化を生かしたまちづくりの推進については、市内9地区を先行して、わがごとく自慢発掘プロジェクトをやる中で、都市計画部、観光振興部、教育委員会の7つの課がかかわってやっている。4月から都市計画課に専任の係ができる、そこで全体の調整をして進めていきたいと考えている。

新交通システムの導入についての議会とのかかわりは、今後研究の過程でいろんな報告をすべきと思っている。委員会からこういうふうにしてもらいたいということがあれば対応していきたいと思っている。また、研究項目の一つとして、新交通システムの種類を研究していく。当然、LRTもその中の一つである。バスではどうかという研究は必ず行う。

このことについて、一緒にしばらく研究をさせていただきたい。

新ごみ処理施設稼働に伴う分別方法の説明会は、できるだけきめ細かく、小さな町内会単位での実施を想定している。また、分別については、不燃のものについて今後どうするかを今議論している。関係者とも十分協議して最終的な方向性を出していく。なお、誤解がないようにしてもらいたいことは、現在資源ステーションに出している資源ごみは、これからのままの分別の考え方である。

空き家については、所有者、事業者、松江市も含めて、それぞれの役割分担を出した上で、定住、まちなか居住を促進していく台本になるような条例の研究をしていきたい。

北工場、南工場の廃止並びに閉鎖の手続については、まずきちっとダイオキシン対策をとらなければならない。また、これまで御協力をいただいた地域の皆様といろいろ協議していかなければならない。いずれは解体をしなければならないが、ことしのところで少しは具体的な話が出てくるのではないかと思っているなどの答弁がありました。

討論では、一委員から、平成21年度で繰り越された事業については、早急に動き出してもらい、この1年間、円滑に市民が安心して暮らせるよう一層努力をお願いして、新年度予算については賛成したいとの意見があり、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第129号「平成22年度松江市簡易水道事業特別会計予算」では、尾原受水の関連の施設整備は今年度で終わるといふことか、また繰り上げ償還は平成21年度で終了したといふことか、水道管施設の図面の整備はできたかなどの質疑があり、執行部より、尾原受水の関連の施設整備はおおむね終了したが、島根町及び美保関町への連絡管などの工事費が今後10億円程度ある。また、補償金免除での繰り上げ償還は今年度で終了した。また、補償金免除が設定されれば考えるが、当面はない。水道管施設の図面の整備は現在整備中であるなどの答弁がありました。

討論で意見はなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第130号「平成22年度松江市公設浄化槽事業特別会計予算」では、質疑の後、討論で意見はなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第136号「平成22年度松江市駐車場事業特別会計予算」では、地下駐車場の方向性をこの1年かけて検討するということであるが、もう少し詳しく伺いたいとの質疑があり、執行部より、地下駐車場は営業開始から10年が経過し、平成12年度初年度から赤字を計上している。この10年間に定期駐車を確保するなど営業努力をしてきたが、単年度黒字になっていない。今後の選択肢については、例えば民間譲渡などの方法があるが、どうしたら黒字化できるかなど検討していきたいとの答弁がありました。

討論で意見はなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第137号「平成22年度松江市下水道事業特別会計予算」では、公共下水道事業に赤字である農業集落排水事業などを一緒にする計画であるが、会計に影響はないのか。修繕しないといけない老朽管は現実どれぐらいあるのかとの質疑があり、執行部より、公共下水道事業は昭和47年から事業を始めており、起債の償還のピークを超えているため、単年度収支は今後改善していくと考えている。また、下水道事業全体を考えるとよい方向に向かっていくと考えている。具体的な老朽管の修繕については、新年度で調査費を計上しているの、その結果を踏まえて路線など決定していくとの答弁がありました。

討論では意見はなく、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第131号「平成22年度松江市集落排水事業特別会計予算」、議第135号「平成22年度松江市八雲地域開発事業特別会計予算」、議第138号「平成22年度松江市公園墓地事業特別会計予算」の議案3件については、質疑、意見ともなく、採決の結果、それぞれ全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

議第142号「平成22年度松江市水道事業会計予算」では、老朽管の布設がえを5年かけてやるということだが、5年でどの程度布設がえができるのか。また、その後はどうするのか。老朽化した石綿管の布設がえの状況はどうか。水道料金の滞納について、最近多くなってはいないか。何カ月間料金を納めなかったら水道をとめるのか。概要説明で、これから尾原ダムの受水が始まると料金の統一、簡易水道との統合など大きな課題が多いようだが、今後住民に対してどのように説明していくのかなどの質疑があり、執行部より、老朽管の更新については、

平成20年度に更新計画を策定しており、当面、第1期として5年の計画を立てた。この5年間に延長約7キロを予定している。全体で30キロ程度あるので、年3億円程度かけて継続的に更新していく予定である。第1期が過ぎれば第2期、第3期と経営状況を考慮しながら計画を立てていく。石綿管は玉湯だけであり、平成20年度から22年度の3カ年ですべて布設がえをする予定である。上水道料金の収納率は99.9%である。

給水停止措置は、約60日程度料金が支払われない場合に講じるようにしている。これからの課題に対しての住民広報については、検討委員会の中で論議していく必要がある。課題に対して一定の判断をしたものから逐次広報をしていきたいなどの答弁がありました。

討論では、一委員から、使用量が減少して給水収益が減っている中、経費の節減等にも努められ、今後計画的に整備をされるようである。簡易水道との統合に向けたたくさんの課題があると思うが、PR等に努めて進めていくということであるので賛成するとの意見があり、採決の結果、全員異議なく原案可決すべきものと決しました。

以上で建設環境分科会の報告を終わります。

南波委員長 建設環境分科会長の報告に対する質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

南波委員長 質疑なしと認めます。

これをもって建設環境分科会長の報告に対する質疑を終結いたします。

これより表決に入ります。

議第122号「平成22年度松江市一般会計予算」を採決いたします。

本案に対する各分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、各分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手多数であります。よって議第122号議案は各分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第123号「平成22年度松江市国民健康保険事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手多数であります。よって議第123号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第124号「平成22年度松江市宍道国民健康保険診療施設事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第124号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第125号「平成22年度松江市老人保健医療事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第125号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第126号「平成22年度松江市後期高齢者医療保険事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第126号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第127号「平成22年度松江市介護保険事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する教育民生分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、教育民生分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第

127号議案は教育民生分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第128号「平成22年度松江市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第128号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第129号「平成22年度松江市簡易水道事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第129号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第130号「平成22年度松江市公設浄化槽事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第130号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第131号「平成22年度松江市集落排水事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第131号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第132号「平成22年度松江市湖南誘致企業団地建設事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する経済分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、経済分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第132号議案は経済分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第133号「平成22年度松江市第二内陸工場団地建設事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する経済分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、経済分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第133号議案は経済分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第134号「平成22年度松江市第二卸商業団地建設事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する経済分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、経済分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第134号議案は経済分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第135号「平成22年度松江市八雲地域開発事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第135号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第136号「平成22年度松江市駐車場事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手多数であります。よって議第136号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第137号「平成22年度松江市下水道事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第137号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第138号「平成22年度松江市公園墓地事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第138号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第139号「平成22年度松江市鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第139号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第140号「平成22年度松江市鹿島有線テレビジョン放送事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第140号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべ

きものと決しました。

議第141号「平成22年度松江市鹿島電気通信事業特別会計予算」を採決いたします。

本案に対する総務分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、総務分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第141号議案は総務分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第142号「平成22年度松江市水道事業会計予算」を採決いたします。

本案に対する建設環境分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、建設環境分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手多数であります。よって議第142号議案は建設環境分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第143号「平成22年度松江市ガス事業会計予算」を採決いたします。

本案に対する経済分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、経済分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手多数であります。よって議第143号議案は経済分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第144号「平成22年度松江市自動車運送事業会計予算」を採決いたします。

本案に対する経済分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、経済分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第144号議案は経済分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第145号「平成22年度松江市駐車場事業会計予算」を採決いたします。

本案に対する経済分科会長の報告は原案可決であ

ります。

本案について、経済分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手全員であります。よって議第145号議案は経済分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

議第146号「平成22年度松江市病院事業会計予算」を採決いたします。

本案に対する教育民生分科会長の報告は原案可決であります。

本案について、教育民生分科会長の報告のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

南波委員長 挙手多数であります。よって議第146号議案は教育民生分科会長の報告のとおり可決すべきものと決しました。

終わりに、委員の皆様の御協力のおかげで委員長の職務を遂行することができました。ありがとうございました。

これにて予算特別委員会を散会いたします。

御苦労さまでございました。

〔午前11時34分散会〕